

# 業務実績報告書

提出日 2020年 1月 22日

1. 職名・氏名 准教授 桑原 美香

2. 学位 学位 博士、専門分野 財政学、授与機関 広島大学、授与年月 2003年 9月

## 3. 教育活動

(1) 講義・演習・実験・実習
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 財政学講義(後期4単位) 2年生 (2017年度~2019年度)
② 内容・ねらい (自由記述) 政府の活動とその財源について基礎用語を学んだうえで、公共財・サービスの必要性和意義、留意点について理解する。また、社会保障制度や国債、地方財政についての現状理解と今後の役割について自分なりの意見を持てるよう指導する。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 (自由記述) 1 テーマを3講義分に分けて進め、第1講義は新聞やテレビ番組など身近な話題で興味を持たせ、第2講義では理論理解に焦点を絞った。とりわけミクロ経済学の復習を行い、財政学の当該部分はその応用であることを理解させた。第3講義は今後の課題について整理し、他国などで行われている類似の制度の可能性などについても紹介し、オープンエンドな講義展開を行った。講義は第1回目の講義までに受講者自身が事前に教科書を読みレジュメを作ってくるよう指導し「反転授業」となるよう工夫した。また、昭和時代の映像やイギリスの生活保護制度を扱った映画を見せ、年表化したり台詞を書き取ることを通して、主体的に学び取るよう工夫した。
① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 基礎ゼミ(前期2単位) 2年生 (2017年度~2019年度)
② 内容・ねらい 次年度から始まる演習Iで使える技術の習得として、論理的に考え表現する手法について学ぶ。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義前半はロジカルシンキングを念頭においた教材を用いた。マインドマップやKJ法、SWOT分析など具体的なツールを用いて、雑多な情報を整理し、表現できるようになることが狙いである。また文章を読んで理解し、コンパクトに整理したりする方法論について基礎的な講義を行った。これらの実践の場として、自分達で決めたテーマに沿ってデータ収集を行い、2018年度は越前町役場、2019年度は株式会社まちづくり小浜(朝倉 昌也氏)、小浜市役所産業部商工観光課を訪れフィールドワーク、ヒアリング調査を行った。 SWOT分析を用いながら強みや弱みを整理し企画案をまとめ、中間発表会では、アルマス・バイオコスモス研究所代表 水上聡子氏、最終報告会では同氏と地域経済研究所の江川誠一先生にプレゼンテーションを審査していただいた。 講義とは別に、一部の学生がJTB主催「観光まちづくりプランコンテスト」への応募を希望したため、留学生も含め京都市を訪問して外国人観光客向けのアンケート調査を行い、企画書作成を指導した。 2017年度は、福井市施設活用課と共同で「公共施設の再編シミュレーションゲーム(FMゲーム)」を製作した。福井市内と旧清水町の公共施設を訪れ、超寿命化や複合化、指定管理者制度、PFI等、事前の講義で習った概念の現場を見せた。三菱UFJリサーチ&コンサルティング主任研究員西尾真治様、福井大学名誉教授の櫻井康宏様、本学地域経済研究所の江川誠一様、福井銀行、北陸財務局等地域の現場に携わっておられる方々にゲーム体験をして頂きアドバイスをいただいた。本件は日本経済新聞(北陸版)や福井新聞等に取り上げていただいた。 いずれの年度もPBLを念頭に、前半で学んだ手法等を後半の実践部分で生かし、体感させる

なかで論理力、企画力を鍛えることを重視した。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  
演習Ⅰ (前期後期 4 単位) 3 年生 (2017 年度～2019 年度)

② 内容・ねらい

次年度から始まる演習Ⅱで使える技術の習得として、論理的に考え表現する手法について学ぶ。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

1 コマのうち講義前半は、担当者が事前に新聞記事を選びレジュメ化してきたものを報告、講義後半は、指定教科書を輪読し、担当者がレジュメを用いて報告する形式で行った。また、基礎ゼミの活動にも逐次参加し、2017 年は FM ゲームの作製、2018 年、2019 年は 2 年生の報告会に参加し、質問・アドバイス等をさせた。

夏季休業期間(9 月)を利用して合宿を行い、2018 年は敦賀市の「あっとほうむ」や大飯原子力発電所 PR 館とその周辺施設を見学した。経済産業省広報官 須山照子様より、現場の状況について詳細なお話を伺う機会を得た。2017 年は志賀町のエネルギー関連施設、2019 年は加えて伸晃化学株式会社も訪問し、現場で詳細なお話を伺う機会を得た。現地調査の前(7 月)には、北陸原子力懇談会主催でセミナーを開催していただき、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 小林泰彦先生よりご講義いただいた。合宿で得られた情報は、翌日のワークショップで KJ 法等を用いて班ごとにまとめる作業を行い、知識の定着化を図った。整理したものは、日本原子力産業協会主催のセミナー(11 月)にて杉山一弥フェローよりコメントを頂くとともに、ご講演いただいた。さらに、福井大学、福井工業大学、の学生とともに、高レベル放射性廃棄物に関するセミナー(12 月)に参加することで、得た知識を用いてディスカッションできるよう、体系的で自律的に学べるよう設計した。

一部の学生は、学外論文コンテスト(WEST)に出場するため、同志社大学で行われたスタートアップセミナー、中間報告、最終報告に参加し実証研究を行った。同テーマにて学内のゼミナール対抗コンテストにも参加した。

学内合同ゼミも行っており、廣瀬ゼミと 3 回にわたり回帰分析の勉強会を開いたり、財務局キャラバンで、税と社会保障制度改革に関する事前勉強会を行ったうえで、新町ハウスにて財務省主計局主計官 森田稔様と意見交換させていただく機会を得た。

また、当該ゼミ卒業生(株式会社 永和システムマネジメント)が企画したアイディアソンにも参加し、ブレインストーミングを体験させた。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  
演習Ⅱ (前期後期 4 単位) 4 年生 (2017 年度～2019 年度)

② 内容・ねらい

卒業論文執筆に際し必要となる技術の習得として、論理的に考え表現する手法について実践的に学ぶ。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

前期は各自新聞記事をピックアップしレジュメ化し、当日報告することを課題としている。また、適宜前年度に用いた教科書などを用いながら、時事問題をアカデミックに理解できるよう工夫した。これらの蓄積により卒業論文のテーマや仮説を決めてゆくよう指導した。

2019 年度は、夏季休業期間を利用しシンガポール研修を行った。前年度に WEST 論文発表会用にまとめた統合型リポート(IR)に関する事後調査として、マリーナベイサンズと(ラスベガスサンズ 桑原 陽子様)、JETRO シンガポール(本多智津絵様、南原将志様)にてヒアリング調査を行い、日本での適用可能性について再考察した。

例年、後期には卒業論文執筆のための個別指導をしており、学生の好奇心を刺激しながら向学心をあおるよう工夫している。学生の得手不得手を丁寧に見極めながら応えるようにしており、2 月には他ゼミとの合同卒業論文報告会を行っている。

その他、幅広い知識を身に着けるため学外活動も積極的に行い、3年生と共に原子力発電所関連施設を見学したり、グループワークを行うなどしている。前述のとおり、現場で見聞きして得た知識を用いてディスカッションできるよう、体系的で自律的に学べるよう設計している。

学内外との合同ゼミも行っており、回帰分析の勉強会や税と社会保障制度改革に関するセミナーなどを開いた。また、福井大学、福井工業大学の学生とともに、高レベル放射性廃棄物に関するセミナーに参加した。

① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等  
地方財政論(前期2単位) 3年生 (2017年度～2019年度)

② 内容・ねらい

地方財政に関わる理念、制度・仕組み、現状を理解し、自分なりの意見をもてるようになること。また、データを収集・分析し、課題抽出や政策提言などができるようにすること。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

通常の講義では、パワーポイントを用いた講義を行い、研究調査で収集した資料類を用いるなどして視覚的に印象に残るよう工夫した。教科書内の図表を最新のものに更新するために補足的に資料を配布した。受講生の要望に応え、中間テストと期末テストを行ったが、教科書の丸覚えではなく、現実の税制の改正とも絡めながら制度の説明力や、3か月以内に取り上げられたニュースなどの理解度を評価点とした。

① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等  
COC+(後期2単位) 2-4年生 (2017年度～2018年度)

② 内容・ねらい

福井県にはどのような仕事があり働き方があるのかを学んでもらうことが本講義の目標である。県立大学経済学部教員による企業や経営に関する講義(理論)と、外部講師に実際の企業や仕事について語ってもらうこと(現状)をセットにして授業を行った。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

本講義の受講生は他大学他学部の学生も含まれるため、経済学の専門用語を極力使わず直観的に「働く」ということの本質を理解してもらえるよう、外部講師、とりわけ県立大学の卒業生で多様な働き方をしている社会人をゲストスピーカーとして招いた。講義を通して、県内企業の多様な就業体系、就労環境等について学び、仕事というもの、そして福井で働くということを自分に即して考えることができるよう構成した。

(3) その他の教育活動

2017年度

WEST論文報告会(審査員)

原子力発電所見学会

高レベル放射性廃棄物セミナー参加

COC+まちづくりワーキンググループ(高浜町/路地まつり)

2018年度

WEST論文報告会(審査員)

原子力発電所見学会

高レベル放射性廃棄物セミナー参加

COC+まちづくりワーキンググループ(高浜町/路地まつり)

2019年度

WEST論文報告会(審査員)

原子力発電所見学会

高レベル放射性廃棄物セミナー参加

COC+まちづくりワーキンググループ(高浜町/路地まつり)

観光まちづくりプランコンテスト応募学生の指導

#### 4. 研究業績

(1) 研究業績の公表
①論文 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日)
②著書 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所または担当ページ)、出版年、出版社名) 共著1:「社会資本整備の50年—フローとストックの変遷—」『経済指標から見る北陸の歩み』、2018年3月、(北陸経済連合会より発刊)。
③学会報告等 (タイトル、報告学会(大会)名(開催年月日)、共同報告者の有無(共同報告の場合は主たる担当箇所))
④その他の公表実績
(2) 学会活動等
学会でのコメンテーター、司会活動(担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日))  座長1: 梅村仁氏「中小企業による地域経済プラットフォームづくり」、和田佐英子氏「人口減少地域と「きょうどう」—協働・共同・協同」、和田直久氏「環境保全サービスの私的財化—地域観光税の考察—」日本地方自治研究学会、於: 松山大学(2017年9月16日) 討論 1: 金坂成通氏、原田禎夫氏「地方自治体の財政規律に関する分析—財政効率性とその要因分析による接近—」日本地方財政学会、於: 新潟朱鷺メッセ(2019年6月2日)
学会での役職など(学会名) 日本地方自治研究学会 理事 地域公共政策学会 理事
学会・分科会の開催運営(担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所)
(3) 研究会活動等
①その他の研究活動参加(参加研究会名、調査活動名(期間))
②その活動による成果
(4) 外部資金・競争的資金獲得実績
(5) 特許出願

## 5. 地域・社会貢献

### (1) 学外団体

①国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間）

委員会1：北陸財務局国有財産北陸地方審議会（2015年度～）

委員会2：北陸財務局北陸地域連携プラットフォーム（2013年度～）

委員会3：北陸農政局農村振興課関係補助金等交付先選定審査委員会（2011年度～）

委員会4：近畿地方整備局足羽川ダム事業費等監理委員会（2014年度～）

委員会5：福井地方労働審議会（2019年度～）

委員会6：福井県固定資産評価審議会（2016年度～）

委員会7：福井県優良工事等事業者表彰選考委員会（2015年度～）

委員会8：福井県県民ホール指定管理者選定委員会（2019年度）

委員会9：福井坂井地区広域市町村圏組合・指定管理者選定委員会（2014年度～）

委員会10：福井市都市再生整備計画事後評価委員会（2019年度）

委員会11：福井市公正入札調査等委員会（2007年度～）

委員会12：福井市廃棄物減量等推進会議（2007年度～）

委員会13：福井市市民協働推進委員会・委員長（2009年度～）

委員会14：福井市身近なまちづくり審議会（2011年度～）

委員会15：福井市国民宿舎鷹巣荘譲渡先事業者選定委員会・委員長（2019年）

委員会16：福井市企業局庁舎未利用スペース運営事業者選定委員会・委員長（2019年）

委員会17：大野市行政改革戦略会議・副会長（2013年度～）

委員会18：大野市公共施設使用料等見直し検討委員会・委員長（2019年度）

委員会19：坂井市指定管理者評価員会・委員長（2012年度～）

委員会20：坂井市指定管理者選定委員会・委員長（2009年度～）

委員会21：あわら市行政改革推進委員会・会長（2012年度～）

委員会22：あわら市公共施設再配置検討委員会・委員長（2018年度）

委員会23：あわら市・公の施設指定管理者選定委員会（2013年度～）

委員会24：敦賀市教育委員会自己点検ヒアリング

委員会25：敦賀市・美浜町 新清掃センター整備に係る計画及び調査等業務プロポーザル審査委員会（2019年）

委員会26：鯖江市道の駅西山公園指定管理者選定委員会（2018年度）

②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）

③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間）

④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動（企業名、活動内容、活動期間）

北信越会議(日本 IBM(株)) (2014 年度～)

⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等  
(事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間)

共催講座：福井県町村会・福井県立大学経済学部「これからの町村自治を考えるゼミ(地域の財政と住民対話)」2019年8月6日、10月10日、2月13日、3月24日

⑥その他（名称、活動場所、活動期間）

講演：北陸経済連合会平成29年度会員懇談会「行政・公共事業—フローとストックの変遷—」  
(2017年11月29日)於. 富山第一ホテル

パネリスト1:10年会「10年後の福井のまちづくりを考える公開研究会」(2017年1月18日) 於.  
ハピリンホール

パネリスト2：北陸財務局「金融仲介の質の向上に向けたシンポジウム」(2017年3月24日)  
於. ホテル金沢

審査員/アドバイザー1：ふくいU・Iターンサマーキャンプ2017(2017年8月27日～9月1日)

審査員/アドバイザー2：ふくいU・I ターンサマーキャンプ 2018(2018年8月31日～9月1日)

(2)大学が主体となっている地域貢献活動等

①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時）

講座1：大学祭一般開講講義(「FMゲーム—公共施設再配置ゲームから考える地方財政—」於.  
福井県立大学、2017年10月14日)

講座2：越前市議会議員向け講義(「住民対話と議会のあり方(仮称)」)於. 越前市議会議場、  
2020年2月4日)

②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時）

講座1：プレカレッジ(「FM(公共施設の再配置)を学ぶ」於. 福井県立大学、2017年8月12日)

講座2：プレカレッジ(「FM(公共施設の再配置)を学ぶ」於. 福井県立大学、2018年8月9日)

審査員/アドバイザー1：HINO 課題研究発表会(於. 武生東高等学校、2019年1月24日)

開放講義：羽水高等学校(「まちづくりとまちのお金」、於. 羽水高等学校、2019年7月14日)

講座3：プレカレッジ(「公共施設再配置ゲームから考える地方財政」於. 福井県立大学、2019年8月7-8日)

審査員/アドバイザー2：HINO・Quest 中間報告会(於. 武生東高等学校、2019年12月13日)

審査員/アドバイザー3：HINO 課題研究発表会(於. 武生東高等学校、2020年1月30日)

③その他（名称、活動場所、活動期間）

ラジオ：FBCラジオ「ようこそ県大研究室」（2019年6月29日、30日放送）

テレビ1：丹南ケーブルテレビ（2017年10月22日放送）

テレビ2：丹南ケーブルテレビ（2019年1月27日放送）

(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）

（活動内容、主たる活動場所、活動期間）

- ・ チャイルド・ファンド・ジャパン（特定非営利法人 チャイルド・ファンド・ジャパン）
- ・ セキュリテ被災地応援ファンド（ミュージックセキュリティーズ株式会社）

6. 大学の管理・運営

(1) 役職 (副学長、部局長、学科長) (職名、期間)
(2) 委員会・チーム活動 (名称、期間) ・ F D委員会 (2016-17年度) ・ 教育研究委員会 (2018-19年度) ・ COC+ まちづくり WG (2015 年度～) ・ COC+アオッサ科目 (2015 年度～)
(3) 学内行事への参加 (行事名、参加日時) 入試関連業務等
(4) その他、自発的活動など (活動名、活動内容、活動期間) 「大学生観光まちづくりプラン」 特別指導 「学内おにぎり屋台」 特別指導